



ENOKI

えのき



女子サッカーチーム
エミナー・新宿・ジュニア
優勝おめでとう！

地元のサッカーチーム「FCワセダ」に女子部があるのをご存じですか。チーム名はスペイン語で「桜」を表す「セレーサ」。小学生の女子サッカー選手たちが新宿区や東京都で行われている女子サッカーの大会で活躍しています。

「セレーサ」の選手たちが新宿区の女子チーム「エミナー・新宿・ジュニア」のメンバーに入り、昨年10月17日、町田市相原スポーツ公園グラウンドにて開催された「第19回東京都二ニヤス中央大会」で優勝しました。これは小学3年生以下の大会ですが、東京都全域の44チームがブロックごとに分かれて戦い、各ブロックの上位チームが中央大会で優勝をかけて戦いに挑むというものです。

「エミナー・新宿・ジュニア」はブロック予選を5戦全勝で優勝し、中央大会でも4戦全勝で東京都で一位になりました。この「二ニヤス大会」はすでに19回目ですが、新宿区のチームが初出場で初優勝という快挙を達成しました。

「エミナー・新宿・ジュニア」のメンバー19人のなか、早稲田小学校の子どもが5人います。皆それぞれの特徴を発揮して、優勝に大いに貢献しました。

新宿区の女子サッカーチームの今後の活躍が期待されます。

問合せ FC WASEDA 塚田 敏明
メール greco2t905@ybb.ne.jp



開校一二〇周年

早稲田幼稚園

開園六十五周年

昨年の11月13日(土)、午前10時から体育館において、教職員、4年生以上の児童、地元関係者ら多くの来賓の方々など総勢約330名が参加して記念式典が盛大に開催されました。

近藤校長先生は挨拶の中で「開校当時の児童数は226名であったが、暫時増加し、山吹小学校、鶴巻小学校の開校時に、時的に減少するも昭和16年には30学級、約1600名と、現在の約3倍の児童が在籍したことがあったこと、大正12年の関東大震災で校舎も被害を受けたが焼失しなかったので、罹災者の一時避難所として活躍したこと、現在の鉄筋3階建ての校舎ができた昭和3年当時は、東洋立派な校舎として見学者が四千人も訪れたこと、戦争中は学童集団疎開があったり、校舎の4分の3が戦災の被害を受けるなど苦難の時代もあつたが順次復旧し、本年は外壁補修工事を実施して見違えるような立派な状態になったこと、この間、一万数千名の卒業生を送りだし、伝統と歴史の礎を築いてきました。今後子どもたちがこの機会に大きく成長することを期待しています」と申されました。

来賓の方のご挨拶の後に、幼稚園園児の「よろこびのことば」として、元氣一杯な園歌斉唱が披露され、次いで児童による「よろこびのことば」は小学校の歴史と児童た

ちの決意表明を、ある時は特定の個人がある時は全員が力強く披露しました。「昔の早稲田すきかえし…」卒業生にとっても懐かしい校歌が斉唱され閉会となりました。アトラクションはご自慢の金管バンドが「センチユリア」を演奏し全ての行事が終了しました。

●エピソード

グラウンド上で開業している八幡船三代目の女将(2007年102歳で逝去)は、大正の始めごろに早稲田小学校に通っていたが、教室から夏目漱石が洋装に帽子といういでたちで外出するのをよく見かけたと話していたそうです。この事は、現当主である五代目のブログ(2007年9月23日付)に記載してあります。



早稲田小学校児童の人文字による校章 写真提供 (株)フォトスタッフ

開校一〇五周年

江戸川小学校PTA

昨年の11月6日(土)、お天気もお祝いしてくれているかのような、気持ちのいい秋晴れの中、江戸川小学校の開校一〇五周年記念音楽会と記念式典が開かれました。

午前中は記念音楽会でした。子どもたちは、お祝いに駆けつけてくださった地域の方、旧職員の先生方など、大ぜいの来賓の方々や保護者を前に、合唱や演奏を立派に披露してくれました。全校児童による「威風堂々」の合唱合奏には感動して涙する保護者もいました。

午後の記念式典では、江戸川小学校の歴史と特色が、スライドショーと子どもたちのナレーションで紹介されました。明治の開校以来、戦争の空襲による火災や閉校の危機を地域の方たちの熱意によってくぐり抜け、地域と共に歩み続けてきたことや、小規模校ならではの工夫や特色ある学校生活の様子が、わかりやすく上手にまとめられていました。

PTA会長からは、開校した明治35年という年は、日露戦争が終結し、「吾輩は猫である」が発表された年であったとお話もあり、改めて歴史の長さに思いを馳せる機会にもなりました。

式典の後は、PTA主催の茶話会でした。旧職員の先生や地域の方との会話もはずみ、PTA有志がハンドベルの演奏を披露する等、終始なごやかな雰囲気につつまれました。図書室は資料室として、過去の卒業アルバムや、子どもたちが調べた江戸川小学校の歴史についての壁新聞が展示されました。卒業アルバムの中にお母さんたちの小学生時代の写真を発見し、かなり盛り上がりつつある姿も見られました。現在、一〇五周年を記念して、校内には子どもたちの学校生活の様子を生き生きと伝える写真が数多く展示されています。江戸川小学校にいらした際には是非じっくりご覧になってみてください。



江戸川小学校 全児童が屋上に集合

ひとひひとりが光輝く
鶴巻幼稚園の子どもたち

「少子化」と言われる時代ですが、榎地区では子どもが増えています。牛込仲之幼稚園、弁天町保育園に続いて、今回は鶴巻幼稚園を取り上げました。

新宿区立幼稚園が小学校と併設である特徴を生かし、鶴巻小の五年生との交流を大事にしています。パソコン教室では、幼稚園の子どもにも五年生がパソコンを教えています。また、就学児健診の際は、やはり、五年生が来春の新入学生を手伝ってあげています。これらは、来春一年生となる子どもたちと六年生になる子どもたちが顔見知りになり、仲良くなって欲しいとの教育方針に基づいています。

また、地域との交流・関係諸機関との連携も大切にしています。キッズサッカー・太鼓に挑戦・クラリネット演奏・エプロンシアターなど実施しています。社会福祉協議会との連携により、高齢者とのふれあいやお手玉教室なども行っています。保護者の協力が幼稚園にとって

つきが行われました。ついたお餅は鏡餅にしましたが、お餅つきの後、きな粉餅、海苔しょう油餅をPTA室で親子一緒に食べました。「親子縁日」も行われますが、保護者の協力があってのものです。

お母さんたちの協力も大切ですが、お母さんたちが元気で過ごせるよう息抜き・リフレッシュも大事です。母親のリフレッシュの為に、エアロビも行われています。

園児数	組名	きりん組(5歳児)	うさぎ組(4歳児)	ひよこ組(3歳児)
26	男	8	7	11
26	女	9	12	5
52	計	17	19	16

元気いっぱい！鶴巻幼稚園の園児たち



新宿歴史博物館 出張博物館
榎の今と昔 展示会



写真展示

出土品
六葉葵文 鬼瓦

歴史博物館では休館中の間、特別企画として、区内の四地区の地域センターを会場に「出張博物館」を催しています。

榎町地域センターにおいては、昨年の12月4日(土)～12日(日)に「榎の今と昔」と題して展示会や講座、まち歩きが行われました。榎地区の明治から昭和にかけての写真や出土品等が多く展示されました。昔の榎の街並みの写真をご覧になり、懐かしい気持ちを抱かれた方もおられたかと思えます。

1月30日(日)～2月6日(日)、牛込笹筒地域センターにて、絵図や地図、写真で笹筒のまちの移り変りを紹介する出張博物館が催されます。

まち歩きと写真展

昨年の12月12日(日)、「江戸の歴史を感じるまち歩き」が催されました。

このまち歩きは、出張博物館の最後を飾るイベントとして企画されたもので、ガイド役の歴史博物館学芸員1名と公募参加者23名、運営スタッフ(榎地区協議会第一分科会委員)2名の計26名で実施されました。

約30分間のオリエンテーションの後に、済松寺を皮切りに、まち歩きがスタートしました。済松寺では墓所のほか、お寺の特別なご配慮により庭園を見学することができ、コンパクトながら深い趣をたたえる風景に、皆しばしの間見入っていました。

穴八幡宮では、改修の終わった境内を見て、「すっかり変わってしまいましたね。子どもの頃はここでよく遊んだものです」と懐かしむ参加者もありました。

日も傾き、うっすらと肌寒くなったころ、予定より約30分遅れてゴールの新宿文化センターへ到着しました。館内で芦崎学芸員の挨拶のあと、地下一階で催されている写真展を観覧して解散となりました。



●まち歩き 当日のコース

榎町地域センター → 済松寺 → 宗参寺 → 落馬地藏 → 穴八幡宮 → 都立戸山公園(流騎馬・箱根山) → 蟹川の足跡をたどる → 西向天神社 → 新宿文化センター

榎町

地域センター

まつり

昨年、10月24日(日)の第8回「榎町地域センターまつり」は、約千名の皆さまにご来場いただき、盛大に催すことができました。

四階ホールで催した地域の子どもたちによる演奏や合唱、ダンス、また、センター登録団体の方々が披露する舞踊等のパフォーマンスは、回を追うごとに、より素晴らしいものとなり、ご来場の皆さまから高く評価されています。

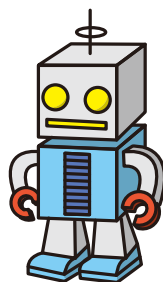
会場の各階で催した「お茶会」や「昔と今のおそび」、また、今回初めて出展した「おもちゃ病院」も人気がありました。毎回行っている野菜やパンの販売は今もご好評をいただき、すぐに売り切れとなりました。また、指圧や包丁研ぎで皆様からいただいた募金は下記のとおり、団体に寄付いたしました。

今年の10月に開催予定の「榎町地域センターまつり」は、開館十周年の節目を迎える回となります。次回の「榎町地域センターまつり」にも多数のご来場をお待ちしています。昨年は文化事業のひとつとして「えのき合唱団」を設立しました。今後も榎町地域センターは皆さまと共に地域に根ざした文化を育み、地域の交流の場としての役割を十分果たすよう努力してまいります。



●指圧

主催	新宿区赤十字奉仕団榎町分団
寄付先	日本赤十字社東京都支部
金額	25,400円



●包丁研ぎ・工作教室

主催	東京土建一般労働組合新宿支部牛込分会
寄付先	新宿区社会福祉協議会

包丁研ぎ(146丁)、工作教室(48人分)
の売り上げの一部を寄付いたしました。



主催：榎地区青少年育成委員会
榎町特別出張所

- | |
|-------------------|
| 高学年の部 |
| 優勝 早稲田小学校Aチーム |
| 第二位 江戸川小学校チーム |
| 第三位 鶴巻・牛込伸之小学校チーム |
- | |
|----------------|
| 低学年の部 |
| 優勝 江戸川小学校チーム |
| 第二位 早稲田小学校Aチーム |
| 第三位 早稲田小学校Bチーム |

昨年の11月21日(日)、早稲田小学校を会場に、江戸川・牛込伸之・鶴巻・早稲田小学校の4校から応募した選手が出場してドッジボールの対校試合を行いました。試合は低学年と高学年に分かれ、それぞれ12試合が行われました。いずれの試合も白熱した接戦となり、わずかな点差で勝敗が決まりました。
* 試合結果は左記のとおりです。

第18回榎地区小学校対抗
ドッジボール大会

おすすめ 冬の散歩道

妙正寺川

今回の「えのき散歩」は、高田馬場から哲学堂公園までの約2.8km、妙正寺川沿いの散歩道を紹介します。

妙正寺川は杉並区清水の妙正寺公園の池を水源とし、明治通りと新目白通りが交差する高戸橋で神田川に合流する延長約11kmの西から東に流れている川です。

出発点は高田馬場駅。まず神田川を渡り新目白通りに出ます。高戸橋から①辰巳橋までは暗渠になっていて、川が姿を見せるのは下落合一丁目歩道橋の辺りからです。

妙正寺川の南側は高い建物が少なく開けていて、北側は住宅が迫り、北風を防いでくれます。左岸沿いの道は良く整備されていて、冬のぼかぼか散歩にはもってこいのコースと言えます。

②新落合橋から中井駅の間は川沿いの道は繋がっていないので、一般道から中井駅前へ出ます。中井駅から再び川沿いの道を歩きます。歩道には鈴蘭灯が設置され、夜の散歩にも不安はありません。③落合公園には、犬を遊ばせる犬の広場があります。西武線の踏切は右岸が隧道で潜るので④上水車橋で右岸に渡ります。⑤中野上高田公園⑥西落合公園⑦哲学堂公園と、公園が続きます。由緒ある哲学堂公園は訪れる価値があります。



水も流れもきれいで、水深は20cmくらいの川が続く



陽光燦々、鈴蘭灯が設置され、夜の散歩も安全



落合公園 五月、公園内にライラック(写真)、川辺にはハナミズキが満開だった



落合公園 アスレチック風の大型の遊具も多く、子どもが元気に遊ぶ



落合公園 池は美しく、樹木は大きいが、まばらで明るさを感じる公園



落合公園、中野上高田公園、哲学堂公園右岸などは公園の下が大水の際の調節池になっていて、川の水位が下がるとポンプで川に戻すようになっている。かつては災害をもたらす暴れ川であったことが想像される。川幅も拡張され最近洪水はないそうだ。



この一面にはテニスコート、野球場、児童遊園があり、下は大きな調節池



西落合公園 公園の周囲が高くなっている公園自体が調節池になる



哲学堂公園 東洋大学の創立者である故井上圓了先生が造った公園で筆舌には尽くしがたい

来迎寺 (らいこうじ)

地下鉄東西線早稲田駅2番出口を出て、すぐ近くの夏目坂を百メートルほど上ると、右側に浄土宗、左側に来迎寺と彫られた二本の石柱が立っていて、その奥に三門が見えます。三門をくぐって進むと左側に庚申塔(こうしんとつ)が、そして正面に木造の本堂が目にとまりま

す。最近建てられるお寺は鉄筋コンクリート造りが多いので木造は珍しい。第二次世界大戦末期の昭和二十年(一九四五)、五月の空襲によって、お寺の建物は全焼したため、平成五年に再建されたもので、樫の天然の木肌が心を癒してくれます。本堂に安置されている脇客佛阿弥陀如来像は、高さ六十八センチの木造寄木造りで、室町時代末期の作といわれています。

本堂の右側にある客殿・庫裡も木造の建物です。本堂の左側 および後方に墓地が広がり、境内面積約三千三百平方メートルは創立当初以来の姿を伝えています。

来迎寺は寛永八年(一六三一)、崇蓮社傳譽上人西入良縁和尚によって開山されました。良縁和尚は群馬県大田市大光院呑龍上人の弟子で、剃髪の際は、下谷宗源寺宝譽月秀といわれ、萬治三年四月寂となっています。

この寺は江戸時代幕府御家人、根来組(江戸城警備の足軽同心)、町人等特に伊勢屋一統など熱心な念仏講信者によって構成されました。爾来檀家の帰依厚く、江戸時代の火災、明治期の受難の時代を経て今日に至っています。現在でも創設当時の檀家が二十数家、その他江戸時代より永続する檀家が百余家あるそうです。

第二十代善応上人は、明治期の廃仏毀釈という仏教受難時代に住職を勤められ、お寺の永続・発展に尽力されました。その後転じて浄土宗々務総長の要職に就かれました。

庚申塔は新宿区指定有形民族文化財になっていて、延宝四年(一六七六)に造立された板碑型の庚申塔です。石質は極めて固い玄武岩で、高さは百一十七センチです。向かって右側に「武州湯原郡牛込馬場下町」の陰刻があり、江戸時代になっても中世当時の古地名を記した史料として極めて価値が高いものです。



紫雲山聖衆院来迎寺(浄土宗)
新宿区喜久井町46番地 Tel.(3203)3215

榎地区協議会からのお知らせ

榎ふれあいデー

毎月、第一日曜日の午後1時〜3時30分に早大通りにて実施

● 2月6日(日)

身体を使ってポカポカ遊び
たがまわし 他

● 3月6日(日)

シャボン玉とばそう
紙飛行機を作るとばそう
輪投げ

*毎回、「昔遊び」「クラフト」

榎ふれあいクッキング

♪楽しいお菓子作り♪

● 日時…2月11日(金)
午前9時30分〜

● 場所…榎町地域センター
3階 調理室

● 対象…中学生以上成人

*メニュー・申し込み等の詳細は各町会の掲示板にてお知らせします。

第5回

「早稲田まち歩き」

参加者募集

ご好評をいただいている「早稲田まち歩き」5回目は、榎町地域センターを中心としたコースを設定して次とおり開催します。

今回は、榎地区協議会第一分科会の委員が、自らの体験や学んだものをもとに解説を行う予定です。そこで参加者との体験交流ができれば、さらに意義あるものとなるでしょう。多くの方のご参加をお待ちしています。

● 日時 3月13日(日)

午前9時集合(時間厳守)
正午終了予定

● 集合 榎町地域センター

2階 和室

● 募集 30名(先着順)

● 参加費 無料

● 申込み 2月14日(月)

〜2月28日(月)

平日午前10時〜午後5時

榎町特別出張所

多田または松尾まで

Tel.(3202) 2461

● コース

榎町地域センター→龍善寺→落馬地藏
↓太平洋戦争被爆第1号の地→大隈講堂
↓会津八一記念博物館→大隈重信銅像
↓演劇博物館→グラウンド坂→中山安兵衛助太刀碑→穴八幡宮→夏目漱石誕生の地→誓閑寺→来仰寺→早稲田大学理工学研究所→喜久井町観音→有島武郎旧居跡→漱石公園→宗参寺→済松寺→榎町地域センター

● まち歩き終了後に、委員とご希望の参加者との昼食をとりながらの交流会を予定しています。ご希望の方はお申し込みください。
(会費1000円程度)

第32回新宿区コミュニティ・スポーツ大会

昨年10月31日(日)、早稲田小学校にて「榎地区大会」が開催されました。種目別の上位入賞は左記のとおりです。

○輪投げ(一般の部)

- 優勝 早稲田南A
- 準優勝 ヤングパワーズ
- 第三位 早稲田一

○輪投げ(シニアの部)

- 優勝 山吹町輪投げの会
- 準優勝 榎町友の会A
- 第三位 薬王寺C

○ユニカール

- 優勝 早稲田南B
- 準優勝 山吹町なかよしD
- 第三位 早稲田南A

○ビーチボールバレー

- 優勝 早稲田南A
- 準優勝 早稲田南B
- 第三位 中里ハッピーA

地区大会の上位3チームが昨年12月12日(日)、コズミックセンターにて開催された「中央大会」に出場しました。

中央大会ではユニカールの種目で、各地区上位3チーム計30チームが競うなか、早稲田南Bチームが数ある強敵を僅差で勝ち抜き、見事優勝しました。ユニカールは、氷上のカーリング競技をアレンジして室内で幅広い年齢層で楽しむことのできるスポーツ競技です。スポーツ交流でもユニカールを行っています。ぜひ体験してみてください。



中央大会 ユニカール優勝 早稲田南Bチーム
左から小林さん、青木さん、今井さん



榎地区青少年育成委員会

昔あそび もちもちの会

中学生と一緒に昔あそびやお餅つきを楽しみましょう。凧あげや独楽回し、けん玉、羽根つき等、懐かしい遊具を揃えてお待ちしています。ご家族やお友だちも誘って、ぜひご参加ください。参加は無料です。

日時：3月13日(日)

午前10時～午後1時

場所：牛込第二中学校

*詳細は、2月中旬に掲示される町会掲示板のポスターをご覧ください。

第40回 のんびり 歩こう会

多摩の自然にふれ
動物たちと親しもう

今回の「のんびり歩こう会」は幼児からお年寄りまでが楽しむことのできる、多摩動物園を訪れるコースです。多数のご参加をお待ちしています。

日時：3月27日(日)

*午前8時30分～午後3時30分を予定しています。

行先：多摩動物公園

参加費：大人 1000円
高校生以下 無料

*詳細は、2月中旬に掲示される町会掲示板のポスターをご覧ください。

スポーツ交流

ユニカール

輪投げ

日時：2月6日(日)
午前10時～12時

会場 榎町地域センター
4階多目的ホール

参加費 無料

申込み 必要ありません(当日受付)

問合せ 黒川孔晴

Tel(3268)1777

主催 わせだスポーツ文化協議会

地域センターからのお知らせ

「えのき合唱団」団員募集中!

毎回40名以上の方が参加して練習をしています。発声練習から始まり、その後、ピアノとバイオリンの演奏で「ふるさと」「北上夜曲」「浜辺の歌」はるかなるケンタッキー」等、ポピュラーな幅広いジャンルの曲を合唱しています。

練習日：月2回(土・日の1回ずつ)
午後3時30分～5時

場所：榎町地域センター
4階多目的ホール

参加費：無料

問合せ：榎町地域センター事務局
Tel(3268)8585

鶴巻小学校 おかしづくり教室



昨年12月5日(日)、鶴巻小学校家庭科室で、つるまきの会主催による「お菓子作り教室」が行われました。講師に都内の有名レストラン「ジョエル・ロブション」の高橋さんとスタッフ3名をお迎えして、親子でお菓子作りに挑戦しました。

今回のメニューは「ブッシュド・ノエル・ショコラ」と「クリスマスクッキー」と「フラン・マンジエ」。先生がチョココレートクリームを材料を手際よく合わせ、ロールケーキを巻いてクリームを塗り、イチゴやブルーベリーで飾り付けを終えると拍手が上がりました。まるでケーキ屋さんみたいな素敵なケーキができてしましました。

自分たちで作ったクッキーとケーキはお土産にしました。先生の素晴らしいお菓子作りの技をたくさん学ぶことができました。高橋先生から「ご家庭でも、アレンジしたお菓子をたくさん作ってほしい」とありました。

えのき文芸



翩翻と大漁旗や冬の海

飯田もと子

点灯に一斉の声聖樹映ゆ

加藤理君

老いたり弱音吐くまじ冬木の芽

軽部とみ子

踏み越ゆる樟の走り根初明り

川口あきを

今年こそ息子とつかん除夜の鐘

小池よし枝

針供養語らひし友いまいずこ

後藤登喜

餅搗きの伸し百枚や町挙げて

佐藤琴美

凍星やみちのくの娘に思ひ馳せ

菅原美智子

逆さ富士小鴨泳ぎて揺らしけり

中村章子

山茶花のこぼるる白や一葉忌

森ひろし

冬の花

ニホンスイセン 春一番早く咲く球根草です。花期は1～4月でスイセンは花の中心に副花冠があるのが特徴です。



高齢の集いに聞こゆ亡母の声
幼き日うさぎ襟巻有ったつけ

池田洋灯

乗る時はとても気楽な口車
門を外して過去の風を入れ

伊藤三十六

新年会冥土の旅の一里塚
新たなる年のスタート初詣で

菅野あきら

(新宿区生涯学習フェスティバル入選句)

耕して明日へ希望の種子を蒔く
転がって来るウサギ待つ木の根っ子

小山一湖

広報部からのお知らせ

「えのき文芸」に掲載する句を募集しています。皆さんの身近にあることがらを「五・七・五」の句にしてみませんか。次号の俳句のお題は「春」、川柳は「自由吟」です。
投稿はハガキかファックスに、俳句川柳の別を明記の上、3月14日(月)までに榎町地域センター事務局までお送りください。

「えのき」では毎号、榎町地域センターの登録団体の紹介をしています。掲載させていただく団体を募集しています。会員の募集や活動の様子、連絡先など、300字以内の原稿を添えて、事務局までお申し込みください。

「家族の肖像」「技の伝承」の記事に登場していただける方、情報をお寄せください。

広報誌「えのき」に関するご意見やお問合せ、情報提供も榎町地域センター事務局までお寄せください。

〒162-0042
新宿区早稲田町85
Tel (3202) 85805
Fax (3202) 2478